

平成23年度 資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,516,130,000	1,443,570,900	72,559,100
手数料収入	46,371,000	47,281,800	△ 910,800
寄付金収入	3,600,000	5,560,000	△ 1,960,000
補助金収入	666,026,000	837,666,881	△ 171,640,881
国庫補助金収入	90,396,000	118,149,000	△ 27,753,000
地方公共団体補助金収入	575,630,000	719,517,881	△ 143,887,881
資産運用収入	10,567,000	12,309,759	△ 1,742,759
事業収入	51,830,000	49,891,000	1,939,000
雑収入	46,979,000	53,562,124	△ 6,583,124
前受金収入	343,683,000	289,305,548	54,377,452
その他の収入	903,942,000	967,465,646	△ 63,523,646
資金収入調整勘定	△ 346,946,000	△ 439,797,072	92,851,072
前年度繰越支払資金	1,958,181,531	1,958,181,531	0
資金収入の部合計	5,200,363,531	5,224,998,117	△ 24,634,586

(資金支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,421,118,000	1,389,262,283	31,855,717
教育研究経費支出	559,650,000	541,630,001	18,019,999
管理経費支出	231,869,000	206,019,914	25,849,086
借入金等利息支出	22,577,000	22,576,790	210
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	0
施設関係支出	10,150,000	8,201,340	1,948,660
設備関係支出	32,710,000	22,588,748	10,121,252
資産運用支出	1,049,514,000	985,250,634	64,263,366
その他支出	909,863,000	992,411,949	△ 82,548,949
(予備費)	(86,580,000)		
	163,420,000		163,420,000
資金支出調整勘定	△ 84,836,000	△ 83,090,212	△ 1,745,788
次年度繰越支払資金	739,888,531	995,706,670	△ 255,818,139
資金支出の部合計	5,200,363,531	5,224,998,117	△ 24,634,586

資金収支計算書の概要

平成23年度の資金収支計算書の特記事項は、「次年度繰越支払資金」を9億9600万円としたことである。本年度は、平成20年から取組んだ第2次長期経営計画の最終年度にあたり、それ以前の第1次長期経営計画の成果と併せて、手持ち資金から将来への資金へ振替する対応を行った。そのため平成22年末に約19億5800万円保有していた次年度繰越支払資金を将来に向けて支出した。その結果、平成23年度の資金収支上の収支勘定は、約9億6200万円の支出超過となった。

また、東日本大震災に係り、被災した学生生徒への援助の支出(教.奨学費等)、建物等の修繕への支出の必要性も大であったが、年度中間に策定した補正予算において大型の予備費計上により予算統制が出来た。また国、県、市による震災関係に係る補助金は、総額約1億8千万円にのぼり、学園の財政は大過なく決算を迎えることが出来た。

平成23年度 消費収支計算書

(消費収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,516,130,000	1,443,570,900	72,559,100
手数料	46,371,000	47,281,800	△ 910,800
寄付金	3,780,000	6,610,191	△ 2,830,191
補助金	666,026,000	837,666,881	△ 171,640,881
国庫補助金	90,396,000	118,149,000	△ 27,753,000
地方公共団体補助金	575,630,000	719,517,881	△ 143,887,881
資産運用収入	10,567,000	12,309,759	△ 1,742,759
事業収入	51,830,000	49,891,000	1,939,000
雑収入	46,979,000	57,862,124	△ 10,883,124
帰属収入合計	2,341,683,000	2,455,192,655	△ 113,509,655
基本金組入額	△ 182,901,000	△ 46,495,591	△ 136,405,409
消費収入の部合計	2,158,782,000	2,408,697,064	△ 249,915,064

(消費支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費	1,440,348,000	1,379,681,945	60,666,055
教育研究経費	764,862,000	746,144,079	18,717,921
管理経費	243,984,000	217,818,134	26,165,866
借入金等利息	22,577,000	22,576,790	210
資産処分差額	1,226,000	1,113,170	112,830
徴収不能額	0	112,200	△ 112,200
徴収不能引当金繰入額	2,271,000	1,815,400	455,600
(予備費)	(106,050,000)		
	143,950,000		143,950,000
消費支出の部合計	2,619,218,000	2,369,261,718	249,956,282
当年度消費収入超過額	△ 460,436,000	39,435,346	—
基本金取崩額	0	0	—
前年度繰越消費収入超過額	△ 2,326,388,417	△ 2,326,388,507	—
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,786,824,417	△ 2,286,953,161	—

消費収支計算書の概要

平成23年度の「帰属収入」は約24億5000万円となり、予算比約1億1300万円の増額となった。その要因は震災に係る補助金による影響が大である。

収入の部のうち、基本金組入額の差異は、予定していた機器備品の購入が不要となった事等、計画時の見狂いによるものである。

また、支出の部では、資金収支と同様、震災による大型予備費の設定を行い、予算から「教.修繕費」に約7400万円、24年度入学生に対応した「管.入学検定料免除額」約970万円等の支出を行った。

結果的として、収入の部では計画比約2億5千万円の収入超過、支出では、予備費の残額を除き約1億600万円の支出減となった。

以上の結果、消費収支差額は、平成20年以來の収入超過(約3900万円)となった。